

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 2 月 18 日 (2021.2.18)

【公開番号】特開 2019-166070 (P2019-166070A)

【公開日】令和 1 年 10 月 3 日 (2019.10.3)

【年通号数】公開・登録公報 2019-040

【出願番号】特願 2018-56210 (P2018-56210)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【 F I 】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 C

A 6 3 F 5/04 5 1 7

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 1 月 5 日 (2021.1.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

キャビネットと、

フロントドアと、

ドアセンサと

を備え、

前記キャビネットの下部には、第 1 閉塞部が設けられており、

前記第 1 閉塞部は、前記フロントドアが閉鎖されている状態において、前記フロントドア方向へ向けて突出しており、

前記フロントドアの下部には、第 2 閉塞部と第 3 閉塞部とが設けられており、

前記第 2 閉塞部は、前記フロントドアが閉鎖されている状態において、前記キャビネット方向へ向けて突出しており、

前記第 3 閉塞部は、前記フロントドアが閉鎖されている状態において、前記キャビネット方向へ向けて突出しており、

前記フロントドアが閉鎖されている状態において、前記第 2 閉塞部と前記第 3 閉塞部との間に前記第 1 閉塞部が配置されている箇所があるように構成されており、

前記フロントドアが閉鎖されている状態から前記フロントドアが開放される場合において、前記ドアセンサが前記フロントドアの開放を最初に検知するときの前記フロントドアの位置を検知開始位置とし、

前記フロントドアが前記検知開始位置にある状態において、前記第 2 閉塞部と前記第 3 閉塞部との間に前記第 1 閉塞部が配置されている箇所があるように構成されている

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 5 】

本発明は、以下の解決手段によって上述の課題を解決する（カッコ書きで、対応する実施形態の構成を示す。）。

本発明は、
キャビネット（１３）と、
フロントドア（１２）と、
ドアセンサと
を備え、
前記キャビネットの下部には、第１閉塞部（１３ｃ）が設けられており、
前記第１閉塞部は、前記フロントドアが閉鎖されている状態において、前記フロントド
ア方向へ向けて突出しており、
前記フロントドアの下部には、第２閉塞部（１２ａ）と第３閉塞部（１２ｂ）とが設け
られており、
前記第２閉塞部は、前記フロントドアが閉鎖されている状態において、前記キャビネッ
ト方向へ向けて突出しており、
前記第３閉塞部は、前記フロントドアが閉鎖されている状態において、前記キャビネッ
ト方向へ向けて突出しており、
前記フロントドアが閉鎖されている状態において、前記第２閉塞部と前記第３閉塞部と
の間に前記第１閉塞部が配置されている箇所があるように構成されており、
前記フロントドアが閉鎖されている状態から前記フロントドアが開放される場合におい
て、前記ドアセンサが前記フロントドアの開放を最初に検知するときの前記フロントドア
の位置を検知開始位置とし、
前記フロントドアが前記検知開始位置にある状態において、前記第２閉塞部と前記第３
閉塞部との間に前記第１閉塞部が配置されている箇所があるように構成されている
ことを特徴とする。